

 青梅商工会議所

70th
Anniversary
— 創立70周年記念誌 —



70th
Anniversary
創立70周年記念誌

| | | |
|-------------|------------|-------|
| | ご挨拶 | 2-5 |
| 組織概要・事務局の機構 | | 6 |
| | 歴代会頭・副会頭 | 7 |
| | 役員・議員名簿 | 8-9 |
| | 部会・委員会等の紹介 | 10 |
| | 会員数・予算額の推移 | 11 |
| 70年の歩み | 創立～60周年 | 12-17 |
| | 61～70周年 | 18-23 |
| | あとがき | 24 |



式 辞

青梅商工会議所 会頭

中村 洋介

おかげさまで青梅商工会議所は創立70周年を迎えました。それは同時に、幾多の荒波を乗り越えてきた地元商工業者の歴史でもあります。かつて地域経済を牽引していた織物産業が衰退していく中で、西東京工業団地が整備され、大手電機メーカーが誘致されると、織物業者は部品供給の担い手へと果敢に転身を遂げました。さらに、その大手電機メーカーも次々に撤退していきましたが、その間に培われた技術は、半導体製造を支える部品産業などの新分野へと引き継がれています。

さて、諸外国の賃金の伸びをよそに、我が国の平均賃金は長きに渡って横ばいを続け、今やOECD加盟35カ国の平均より25%も低くなっています。今、地域経済が第一に目指すべきは、この長く続いている停滞を打破し、地域住民所得を向上させることです。じつは、これを実現する方法はわかっています。労働生産性の高い産業を振興して地域外から稼ぐ所得を増やし、稼いだ所得を漏れなく地域住民に分配し、地域内で消費し、投資することで、地域経済を好循環に導くことです。

青梅商工会議所は、これを実現するために全力で取り組んでまいります。どうか皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



70周年を祝して

日本商工会議所 会頭

小林 健

青梅商工会議所が創立70周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

青梅商工会議所は、昭和27年の創立以来、常に地域のリーダーとして、商工業の振興や地域経済社会の発展に大きく貢献してこられました。これも偏に、歴代、および現在の役員・議員・会員、そして職員の皆様の弛まぬご尽力の賜物と存じ、深く敬意を表します。

さて、長引くコロナ禍や資源価格高騰、円安、ウクライナ侵攻など、複合的な要因による物価高騰が国民生活および中小企業経営に大きな影響を与えています。他方、中小企業経営を取り巻く諸課題への対応は、見方を変えれば、「デフレマインド」や「コロナマインド」から脱却し、「成長マインド」を取り戻す好機でもあります。長年にわたる停滞から変革への大転換期を迎えている今こそ、企業経営者も「安定」から「成長」志向へと切り替えることが求められており、そのためには、企業も、商工会議所も、こうした大きな環境変化に対応し、覚悟をもって自己変革に挑戦していかなければなりません。

日本商工会議所は今年で創立100周年を迎えました。「地域とともに、未来を創る」をスローガンに、未来に向けて新たな歩みを進めていく決意を胸に、新しい時代を皆様とともに切り拓いてまいりたいと思います。

青梅商工会議所におかれましては、創立70周年を新たな出発点として中村会頭の力強いリーダーシップのもと、より一層結束を深められ、積極的な活動の展開により、コロナ禍からの復興、そしてさらに豊かで活力ある地域が創造されますことを衷心よりご期待申し上げます。



70周年を祝して

青梅市長
浜中 啓一

青梅商工会議所の創立70周年を心からお祝い申し上げます。

青梅商工会議所は昭和27年の創立以来、地域経済の振興や活性化に御尽力いただき、豊かな地域社会の構築に大きな役割を担ってこられました。今日の礎を築かれた歴代会頭を始め、役員の皆様、会員各位の御努力に心から敬意を表します。

世界経済は今、新型コロナウイルスやロシアによるウクライナ侵攻など激動の時代に突入し、日本経済の屋台骨を支えてきた中小企業にも、カーボンニュートラル、循環型経済社会、デジタル化、SDGsなどの新たな価値観への対応が求められています。

この厳しい時代の中、事業者へのきめ細やかな支援を行う青梅商工会議所の存在は非常に大きく、地域経済のけん引役として、その役割はますます重要となっております。

これまで培われた経験、実績を基に、市内産業の更なる発展のため、特段の御尽力をお願いいたしますとともに、青梅商工会議所および会員各位のますますの御活躍と御健勝を祈念いたしまして、お祝いの御挨拶とさせていただきます。



70周年を祝して

奥多摩町長
師岡 伸公

青梅商工会議所の設立70周年を心よりお祝い申し上げます。

また、青梅商工会議所の皆様におかれましては、日頃より奥多摩町の行政執行にご理解、ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

特に奥多摩町にとりまして、小口事業資金融資制度の審査事務や地元商店街の活性化対策、また女性活躍推進のためのビジネススクールやセミナーの開催等にご尽力をいただき深く感謝申し上げます。

今日、地域経済は、コロナ禍において、休業や営業自粛等による深刻な打撃を受けており、大変厳しい状況にあります。

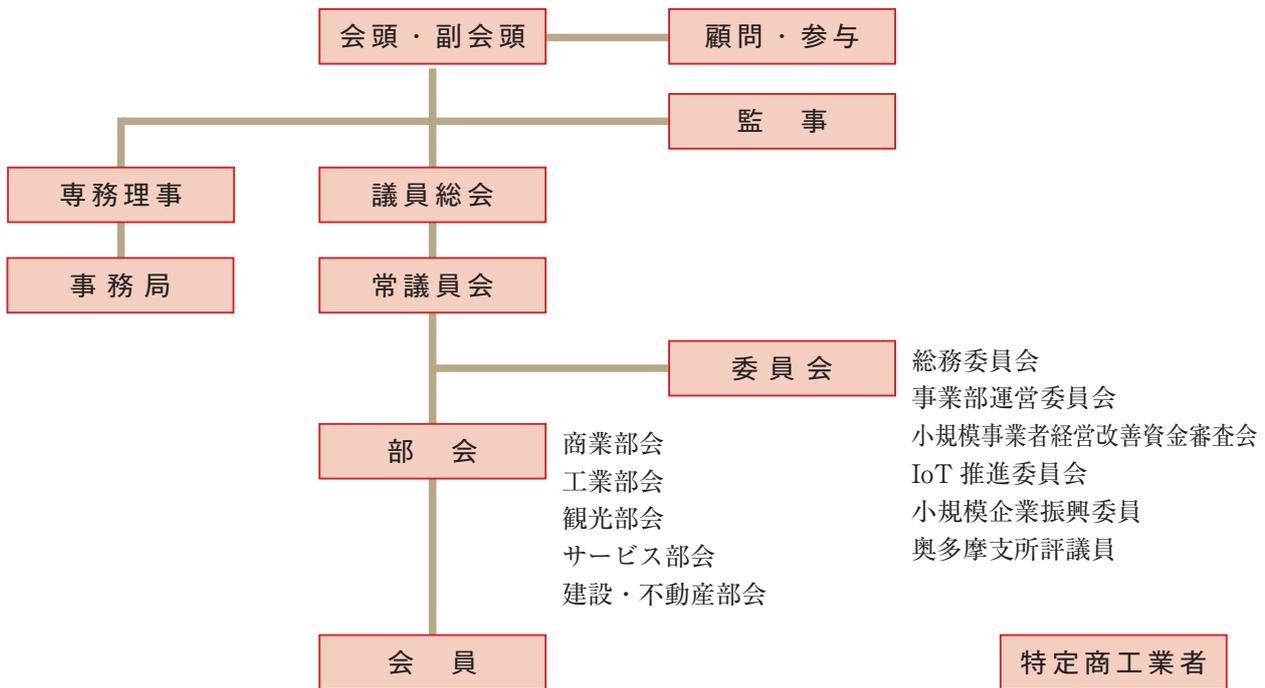
こうした中、地域経済発展の担い手として青梅商工会議所が果たす役割はこれまで以上に大きくなっているものと存じます。

町としましても、引き続き町の産業の発展のため取り組んでまいりますので、今後とも会員皆様にご指導とご助言を、行政に対しましても、より一層のご指導ご協力をお願い申し上げます。

結びに、青梅商工会議所のますますのご発展と会員皆様のご健勝、ご活躍を心より祈念し、お祝いの言葉といたします。

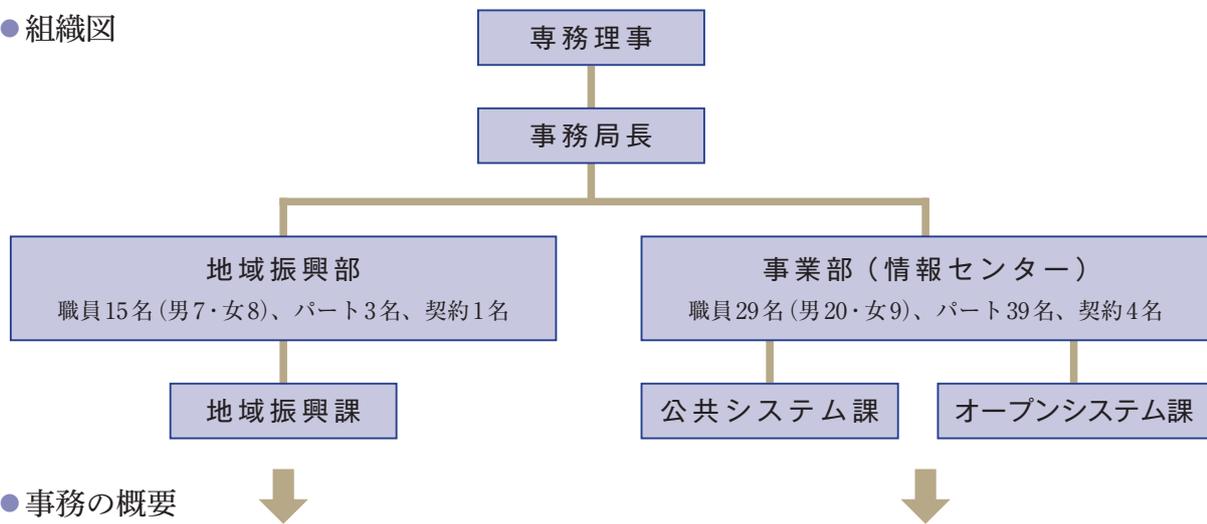
組織概要・事務局の機構

組織概要

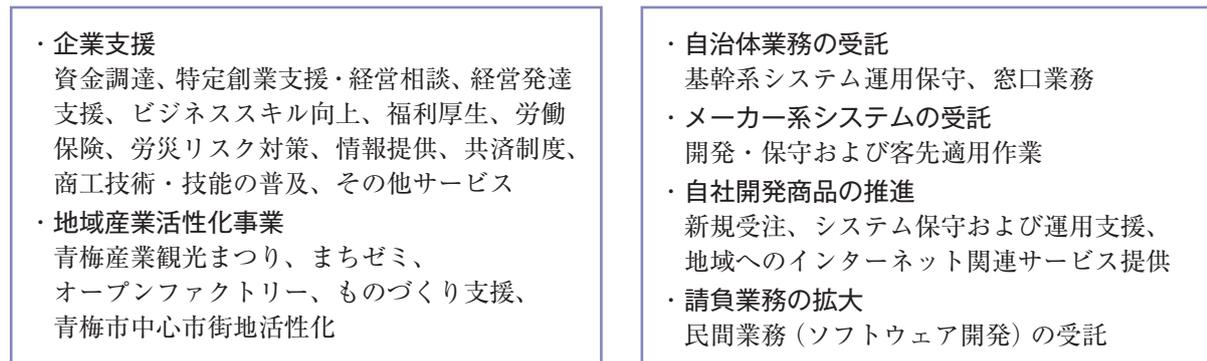


事務局の機構

● 組織図



● 事務の概要



歴代会頭・副会頭

会頭



初代 田中 文吉
(任期：1952.1.28～1956.4.11)



二代 中村 来内
(任期：1956.4.12～1964.12.8)



三代 榎戸 米吉
(任期：1964.12.9～1988.12.7)



四代 山崎 正雄
(任期：1988.12.8～2001.11.7)



五代 清水 保男
(任期：2001.11.8～2010.11.11)
(2010.10.14 急逝)



六代 館 盛和
(任期：2010.11.12～2016.10.31)



七代 小澤 順一郎
(任期：2016.11.1～2022.10.31)



八代 中村 洋介
(任期：2022.11.1～)

副会頭

| | | | |
|---------|----------------------------|--------|-----------------------------|
| 榎本 栄蔵 | 1952. 1. 28 ～ 1959. 11. 25 | 関塚 益美 | 1994. 12. 8 ～ 1998. 11. 5 |
| 岩浪 力造 | 1952. 1. 28 ～ 1961. 11. 25 | 高野 清三郎 | 1994. 12. 8 ～ 2000. 5. 29 |
| 久保田 仲吉 | 1954. 2. 17 ～ 1961. 11. 25 | 永澤 初男 | 1998. 11. 6 ～ 2006. 3. 31 |
| 宇津木 啓太郎 | 1954. 2. 17 ～ 1962. 1. 22 | 小澤 禎一郎 | 1998. 11. 6 ～ 2007. 11. 14 |
| 岩浪 安治 | 1960. 1. 23 ～ 1962. 1. 23 | 清水 保男 | 2000. 5. 29 ～ 2001. 11. 8 |
| 浜中 宗之助 | 1962. 1. 23 ～ 1971. 9. 7 | 入江 實 | 2001. 11. 8 ～ 2010. 11. 11 |
| 川杉 昇一 | 1962. 1. 23 ～ 1972. 11. 15 | 館 盛和 | 2006. 4. 1 ～ 2010. 11. 11 |
| 海藤 恒次郎 | 1962. 1. 23 ～ 1972. 11. 15 | 野崎 弘 | 2007. 11. 15 ～ 2019. 10. 31 |
| 青柳 雄一 | 1962. 1. 23 ～ 1985. 12. 5 | 小澤 順一郎 | 2010. 11. 12 ～ 2016. 10. 31 |
| 河野 定信 | 1972. 1. 17 ～ 1980. 10. 31 | 森田 昇 | 2010. 11. 12 ～ 2019. 10. 31 |
| 田中 孫次郎 | 1973. 1. 23 ～ 1982. 12. 8 | 中村 洋介 | 2016. 11. 1 ～ 2022. 10. 31 |
| 田辺 栄吉 | 1981. 3. 25 ～ 1987. 10. 31 | 菊池 一夫 | 2019. 11. 1 ～ |
| 清水 棟太郎 | 1982. 12. 8 ～ 1994. 12. 8 | 清水 大 | 2019. 11. 1 ～ |
| 中村 信吾 | 1985. 12. 5 ～ 1994. 12. 8 | 林 英夫 | 2022. 11. 1 ～ |
| 田中 富太郎 | 1988. 1. 8 ～ 1998. 5. 28 | 岩浪 岳史 | 2022. 11. 1 ～ |

役員・議員名簿

| 氏名 | 事業所名 |
|----------------|----------------|
| ◆ 会 頭 | |
| 中村 洋介 | 青梅ガス(株) |
| ◆ 副 会 頭 | |
| 菊池 一夫 | (株)クレアンスメアード |
| 清水 大 | 清水燃料(株) |
| 林 英夫 | 武州工業(株) |
| 岩浪 岳史 | 岩浪建設(株) |
| ◆ 専務理事 | |
| 池田 政教 | 青梅商工会議所 |
| ◆ 監 事 | |
| 中野 芳徳 | 三和工機(株) |
| 根本 太夫 | (株)カシワ |
| 小山 孝 | (株)エイム |
| ◆ 常 議 員 | |
| 柴崎 達也 | アクサ生命保険(株)東京支社 |
| 荒井 成典 | (株)荒井電業社 |
| 大堀 隆二 | (福)一石会 大洋園 |
| 井戸 功誠 | 井戸鉄建(株) |
| 野村 正男 | 青梅信用金庫 |
| 若林 哲也 | (一社)奥多摩観光協会 |
| 佐藤 武 | 奥多摩商業協同組合 |
| 清水 勉 | 奥多摩総合開発(株) |
| 古屋 英司 | 小河内建設(株) |
| 岩田 雅行 | カネク(株) |
| 田邊 晃 | (株)釜屋 |
| 久保 安宏 | (株)クボプラ |
| 久保 稔 | (株)久保ラジオ商会 |
| 桑田 新一 | (有)桑田商店 |
| 鈴木 宗 | (株)紅梅苑 |
| 下野 一郎 | (株)梅文社 |
| 小山 洋一 | 小山製菓 |
| 石和田 順 | (株)サーテック |
| 佐久間藤樹 | 佐久間建設(株) |

| 氏名 | 事業所名 |
|----------------|--------------------------|
| ◆ 常 議 員 | |
| 嶋崎 雄幸 | 嶋崎税務会計事務所 |
| 清水 浩久 | (株)清水製作所 |
| 穂積 雅光 | (株)忠光製作所 |
| 田中英一郎 | (株)タマプリント |
| 黒田 英寿 | (学)和風会 多摩リハビリテーション学院専門学校 |
| 富田 貞雄 | (株)富田電気 |
| 久保 寛一 | (株)NISSYO |
| 坂本 将之 | ホットマン(株) |
| 靱矢 正 | 御岳山観光協会 |
| 武藤 一由 | 武藤治作酒店 |
| 原島 俊二 | 山鳩 |
| ◆ 議 員 | |
| 柴田 拓也 | 朝日建設(株) |
| 池田 和弘 | (株)池田製作所 |
| 伊藤美由希 | 伊八産業(株) |
| 藤田 雅広 | (株)青梅ゴルフ倶楽部 |
| 三吉 拓郎 | 青梅鑄造(株) |
| 石川 孝 | 青梅トヨー住器(株) |
| 奥住 尚弘 | 奥住運輸(有) |
| 小澤 国生 | (株)オザム |
| 小澤 幹夫 | 小澤酒造(株) |
| 小沢 昌治 | (株)小沢製作所 |
| 鬼塚 睦子 | (株)鬼塚硝子 |
| 川鍋 重美 | かわなべ鶏卵農場 |
| 榎澤 誠 | 喫茶「ここから」 |
| 荒井 信喜 | (株)クライン |
| 木岡 徹也 | (株)甲州屋 |
| 今井 肇 | (株)五光社 |
| 小山 豊 | (株)コヤマ |
| 須田 晶子 | (株)酒井組 |
| 笹本 幸代 | (株)ささもと建設 |
| 内山 英男 | (株)指田製作所 |
| 宇津木由廣 | (株)三愛 |
| 中澤 義昭 | (株)サンメディカルサービス |

| 氏名 | 事業所名 |
|-------------|---------------------|
| ◆ 議員 | |
| 志村 將成 | (有)シムラ |
| 志村 実 | 志村電設(株) |
| 牧野喜代志 | (同)首都圏サポートセンター |
| 藤本 祐一 | 昭和建設(株) |
| 榎戸 浩一 | (株)昭和石材工業所青梅事業所 |
| 武藤秀一郎 | (株)食彩房成木屋 |
| 坂下 昌裕 | (有)新町オフセット印刷 |
| 石上憲志郎 | (医)新町クリニック |
| 鈴木 巖 | (株)鈴木自動車 |
| 白井 肇 | (株)精興社 |
| 坂元 洋幸 | 西武信用金庫河辺支店 |
| 大山 恵介 | (株)青和施設工業所 |
| 市川 裕之 | (株)せきづか |
| 森田 清一 | 大協加工(株) |
| 稲葉 好紀 | 太陽誘電モバイルテクノロジー(株) |
| 田中 康文 | 田中工業(株) |
| 井上 忠男 | (株)多摩組 |
| 師 哲也 | 多摩ケーブルネットワーク(株) |
| 菊池 康弘 | (株)チャス |
| 沼倉 正毅 | (有)テクノム |
| 澤本 昭広 | 東京機土工木(株) |
| 吉澤 清志 | 東京システムリサーチ(株) |
| 柳川 貴嗣 | (株)東京有機農家 |
| 小山 豊 | (株)豊富士 |
| 永田 盛久 | ナップ(株) |
| 並木 繁幸 | (有)ナミキトレイディング |
| 楯島 幸子 | 楯島幸子税理士事務所 |
| 小峰 創 | 日本ブレーシング工業(株) |
| 望月 武治 | (株)VOLLMONTホールディングス |
| 島崎 忠 | hairmake J-シユール |
| 合崎久寿雄 | (有)本宿屋あいざき |
| 土方 勇樹 | (株)マルケイ |
| 奈良野 剛 | (株)丸芝製作所 |
| 鍵田 政信 | 御岳登山鉄道(株) |
| 村田 敏行 | 村田染工(株) |
| 元木 孝浩 | (株)元木屋 |

| 氏名 | 事業所名 |
|----------------|-----------------|
| ◆ 議員 | |
| 守谷憲太郎 | 守谷織物(株) |
| 師岡慎一郎 | 師岡建材(株) |
| 市川 敬二 | 師岡設備工業(株) |
| 山崎 茂 | 山徳(株) |
| 福島慎太郎 | (株)りそな銀行東青梅支店 |
| 加藤栄次郎 | (有)柳丸 |
| 小熊 康司 | ワイエイシイガーター(株) |
| ◆ 名誉会頭 | |
| 館 盛和 | 多摩ケーブルネットワーク(株) |
| 小澤順一郎 | 小澤酒造(株) |
| ◆ 相談役 | |
| 野寄 弘 | (資)うめや |
| 森田 昇 | 青梅信用金庫 |
| ◆ 顧問 | |
| 原嶋 和利 | (株)三愛 |
| ◆ 議員待遇者 | |
| 武藤 達也 | (株)武藤一級建築士設計事務所 |
| 梅田 重利 | (株)梅田商事 |
| 佐藤 嘉彦 | (株)佐藤徳蔵商店 |
| 大越 正則 | 大越精密(株) |
| 杉村 秀 | 国民宿舎観光荘 |
| 青柳 実 | (株)あおやぎ |
| ◆ 参 与 | |
| 濱野 朋紀 | 東京厚生信用組合青梅支店 |
| 星野 武 | 西東京農業協同組合本部 |
| 山田 順一 | みずほ銀行立川法人部 |
| 渡邊 佳人 | 飯能信用金庫青梅東支店 |
| 永田 宏昌 | きらぼし銀行青梅支店 |

部会・委員会等の紹介

部会

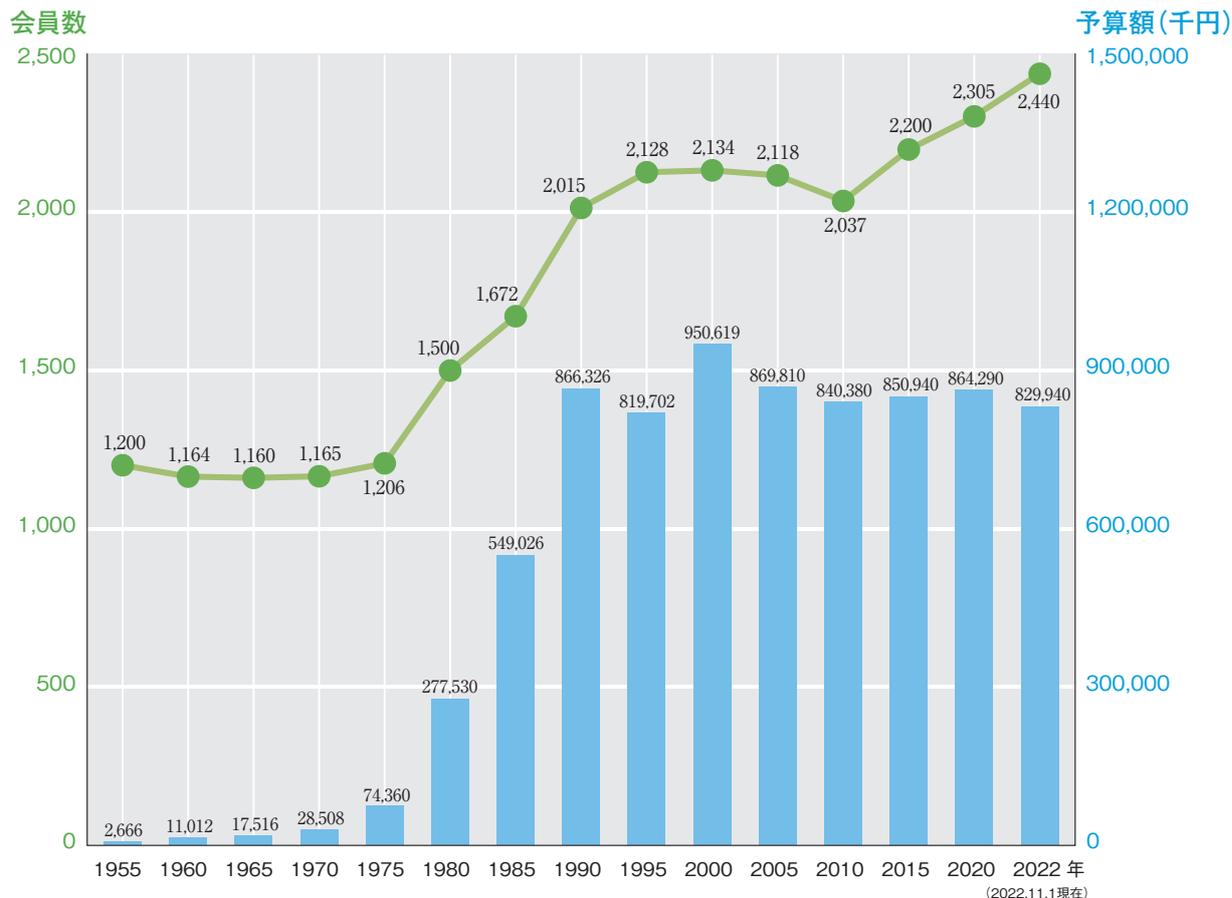
| 部会名 | 部会長 | 副部会長 | 主な事業 | *会員数 |
|----------|-------|----------------|-------------------------------------|------|
| 商業部会 | 田邊 晃 | 久保 稔 桑田 新一 | 商店街催事補助 商店振興事業 視察研修会 | 483 |
| 工業部会 | 久保 安宏 | 岩田 雅行 久保 寛一 | 献血事業協力 商品P R事業 視察研修会 会員交流会 | 475 |
| 観光部会 | 原島 俊二 | 靱矢 正宗 鈴木 宗 | セミナー 視察研修会 観光P R事業 | 323 |
| サービス部会 | 嶋崎 雄幸 | 大堀 隆二 下野 一郎 | 講演会 視察研修会 地域活性化事業 | 666 |
| 建設・不動産部会 | 井戸 功誠 | 荒井 成典 佐久間藤樹 | 要望活動 講演会 視察研修会 | 493 |

*2022年11月1日現在

委員会等

| 名称 | 目的 | 委員長名 | 構成人員 |
|------------------|--|-------|------|
| 総務委員会 | 青梅商工会議所の運営における重要事項につき調査研究する | 菊池 一夫 | 6名 |
| 事業部（情報センター）運営委員会 | 事業部の運営に関する重要事項について調査研究する | 清水 大 | 6名 |
| 小規模事業者経営改善資金審査会 | 小規模事業者経営改善資金の推薦にかかる審査を行う | 岩浪 岳史 | 5名 |
| IoT推進委員会 | 先端技術の情報提供や応用事例等のセミナー・ワークショップ開催及び、自社とITベンダーを繋ぐ「ITインタープリター」を育成する | 林 英夫 | 7名 |
| 小規模企業振興委員 | 小規模事業者と経営指導員の間において、公共奉仕の理念に基づき、当所管内小規模事業者の振興に寄与する | — | 10名 |
| 奥多摩支所評議員 | 奥多摩町における商工業者の実態と経営上の諸問題を把握し、事務局と連携をとり、商工業者及び地域の発展に寄与する | — | 6名 |

会員数・予算額の推移



| 年度 | 会員数 | 予算額(円) |
|------|-------|------------|
| 1952 | 1,068 | 1,066,000 |
| 1953 | 1,098 | 1,632,450 |
| 1954 | 1,095 | 2,447,950 |
| 1955 | 1,200 | 2,666,000 |
| 1956 | 1,168 | 3,053,000 |
| 1957 | 1,225 | 2,690,883 |
| 1958 | 1,215 | 3,110,500 |
| 1959 | 1,164 | 4,668,500 |
| 1960 | 1,164 | 11,012,494 |
| 1961 | 1,141 | 10,799,472 |
| 1962 | 1,158 | 11,157,718 |
| 1963 | 1,216 | 13,696,460 |
| 1964 | 1,119 | 14,875,600 |
| 1965 | 1,160 | 17,516,000 |
| 1966 | 1,191 | 21,057,500 |
| 1967 | 1,184 | 23,967,000 |
| 1968 | 1,185 | 26,300,000 |
| 1969 | 1,171 | 26,268,000 |
| 1970 | 1,165 | 28,508,000 |
| 1971 | 1,080 | 30,034,000 |
| 1972 | 1,052 | 37,360,000 |
| 1973 | 1,085 | 46,255,000 |
| 1974 | 1,180 | 62,233,000 |
| 1975 | 1,206 | 74,360,000 |

| 年度 | 会員数 | 予算額(円) |
|------|-------|---------------|
| 1976 | 1,198 | 185,880,000 |
| 1977 | 1,313 | 173,728,864 |
| 1978 | 1,326 | 175,200,000 |
| 1979 | 1,396 | 309,528,944 |
| 1980 | 1,500 | 277,530,000 |
| 1981 | 1,626 | 296,713,000 |
| 1982 | 1,626 | 370,609,091 |
| 1983 | 1,640 | 466,339,979 |
| 1984 | 1,657 | 585,818,000 |
| 1985 | 1,672 | 549,026,000 |
| 1986 | 1,689 | 566,640,000 |
| 1987 | 1,684 | 604,577,000 |
| 1988 | 1,920 | 651,856,000 |
| 1989 | 1,949 | 780,772,158 |
| 1990 | 2,015 | 866,326,500 |
| 1991 | 2,086 | 866,697,485 |
| 1992 | 2,068 | 809,667,000 |
| 1993 | 2,042 | 719,703,000 |
| 1994 | 2,055 | 744,317,000 |
| 1995 | 2,128 | 819,702,000 |
| 1996 | 2,123 | 788,892,400 |
| 1997 | 2,125 | 958,183,000 |
| 1998 | 2,123 | 986,973,000 |
| 1999 | 2,136 | 1,065,392,000 |
| 2000 | 2,134 | 950,619,000 |

| 年度 | 会員数 | 予算額(円) |
|------|---------|---------------|
| 2001 | 2,145 | 987,340,000 |
| 2002 | 2,139 | 942,280,000 |
| 2003 | 2,161 | 917,448,500 |
| 2004 | 2,135 | 893,848,000 |
| 2005 | 2,118 | 869,810,000 |
| 2006 | 2,101 | 909,270,000 |
| 2007 | 2,076 | 1,004,560,000 |
| 2008 | 2,037 | 1,031,839,000 |
| 2009 | 2,048 | 950,840,000 |
| 2010 | 2,037 | 840,380,000 |
| 2011 | 2,032 | 837,950,000 |
| 2012 | 2,033 | 745,920,000 |
| 2013 | 2,041 | 728,750,000 |
| 2014 | 2,127 | 716,490,000 |
| 2015 | 2,200 | 850,940,000 |
| 2016 | 2,211 | 709,190,000 |
| 2017 | 2,233 | 765,910,000 |
| 2018 | 2,277 | 782,760,000 |
| 2019 | 2,300 | 879,710,000 |
| 2020 | 2,305 | 864,290,000 |
| 2021 | 2,406 | 845,920,000 |
| 2022 | * 2,440 | 829,940,000 |

* 2022年11月1日現在

商工会議所70年の歩み 創立～60周年

| 1951～1962年度 | | | (昭和26～37年) |
|-------------------|-------------------------------|--|---|
| 年度 | 月 | 主な動き | |
| 1951年度 (昭和26年) | 7月 10月 1月 | <ul style="list-style-type: none"> 創立準備 ●商工会議所設立問題協議会 ●青梅市役所、市議会産業委員会、商工振興会、織物組合の関係者により設立準備委員会を構成 ●会員募集開始 ●青梅商工会議所創立総会 於 青梅市公民館 (1月20日) ●事務所 青梅市青梅291 (青梅市公民館内) ●経済講演会を開催し、講師は大藏大臣、池田勇人氏を予定していたが変更となり、秘書官であった大平正芳氏であった。 |  <p>創立当時の商工会議所</p> |
| 1952年度 (昭和27年) | 6月 11月 12月 | <ul style="list-style-type: none"> ●第1回議員総会 (未認可のため非公式) ●青梅商工会議所設立認可申請提出通産大臣宛 ●会報第1号発行 ●青梅商工会議所設立認可 (11月26日) ●設立登記 (12月12日) ●珠算能力検定試験を第18回から開始 |  <p>会報創刊号</p>  <p>設立認可書</p> |
| 1953年度 (昭和28年) | 5月 2月 | <ul style="list-style-type: none"> ●青梅商店街協同組合創立 (現青梅商業協同組合) ●会員共済制度 (火災) 実施 ●議員改選 (新商工会議所法により組織変更時のため任期1年6ヶ月) | |
| 1954年度 (昭和29年) | 4月 6月 12月 2月 | <ul style="list-style-type: none"> ●商工会議所法改正により組織変更新発足 ●市内物価調査開始 ●青梅市商店街連合会発足 ●事務局移転 青梅市青梅117番地 ●特定商工業者登録制度実施 ●青梅商工相談所開設 ●東京都民銀行誘致実現 四村合併 (吉野、三田、小曾木、成木) |  <p>昭和29年12月事務所移転</p> |
| 1955年度 (昭和30年) | 9月 11月 | <ul style="list-style-type: none"> ●奥多摩支部設置、五日市支部設置 ●議員改選 (今回より任期3年となる) | |
| 1956年度 (昭和31年) | 5月 | ●青梅さくら会を結成し、青梅丘陵にさくら苗木500本植樹 | |
| 1957年度 (昭和32年) | 10月 | <ul style="list-style-type: none"> ●青梅まつり (ちょうちんまつり) ●陳情——商店街側溝の改修について (実現) ●商工会議所マーク制定 (当市内宇津木松治氏入賞図案) |  <p>本町商店街提灯まつり</p> |
| 1958年度 (昭和33年) | 12月 | ●第4期議員改選 | |
| 1959年度 (昭和34年) | 8月 10月 1月 | <ul style="list-style-type: none"> ●青梅織物新製品奨励コンクール開催 (第1回) ●青梅市温泉調査実施 ●青梅織物産地診断事業 (34年～35年) ●陳情——青梅線の複線化について (4月より工事開始) |  <p>青梅織物産地診断報告書</p>  <p>最初の商工名鑑</p> |
| 1960年度 (昭和35年) | 7月 2月 | <ul style="list-style-type: none"> ●岩蔵温泉水質検査発表会 ●青梅商工名鑑発刊 (2,500部) ☆東京西部機器金属協同組合創立2月2日 (当所指導) | |
| 1961年度 (昭和36年) | 10月 12月 1月 | <ul style="list-style-type: none"> ●第1回青梅市産業展示会 (旧市役所) ●青梅織物産地買継商業組合設立 (当所指導) ●第5期議員改選 (昭和37年1月23日) |  <p>創立10周年記念永年勤続者表彰式</p>  <p>創立10周年記念誌</p>  <p>第1回青梅織物移動展示会 (於：青森市)</p> |
| 1962年度 (昭和37年) | 10月 12月 | <ul style="list-style-type: none"> ●青梅織物市場調査および東北5県10都市現地展示会 ●青梅商店街診断 (8商店街) ●創立10周年記念式典 於 青梅市役所 | |

●：当所事業 ☆：関係団体事業

1963～1972年度

(昭和38～47年)

| 年度 | 月 | 主な動き |
|-------------------|---|--|
| 1963年度 (昭和38年) | 5月 | ●青梅織物市場調査、東北地区、北海道地区11都市に於てアンケート調査を実施 ●青梅織物産地診断事後指導——20企業について経営指導 |
| | 2月 | ●青梅木材産業の総合診断事業を実施 ☆青梅糸商協同組合設立(当所指導) |
| | 3月 | ●買物モニター制度実施(10名) ●製織技術講習会 4日間延230名 |
| 1964年度 (昭和39年) | 9月 | ●青梅織物市場調査 山形、長野、埼玉、千葉、都内団地 |
| | 10月 | ●謄写技術講習会 10日間 180人 ●商店街環境診断 羽村町、瑞穂町 |
| | 12月 | ●第6期議員改選 |
| 1965年度 (昭和40年) | 6月 | ●消費者座談会 |
| | 8月 | ●青梅織物市場調査及び展示会 東北地方における寝具の使用状況調査 |
| | | ●産業開発懇談会——地域産業の開発の現状と将来について |
| | 10月 | ●奥多摩町、秋多町商店街診断 |
| | 1月 | ☆大多摩自動車整備協同組合設立(当所指導) |
| 3月 | ☆青梅商店街協同組合、青梅市商店街連合会を合併し、 青梅商業協同組合に組織変更を行った。 | |
| 1966年度 (昭和41年) | 4月 | ☆青梅・西多摩建設業協同組合設立(当所指導) |
| | 5月 | ●青梅市中小企業振興資金融資制度開始(当所事務委託) |
| | 3月 | ●簿記検定受験者数(当所第1回) 236名 ●創立15周年記念商工名鑑発行 2,500部 |
| 1967年度 (昭和42年) | 6月 | ●簿記学院開校(初級、中級で開校) |
| | 7月 | ●青梅織物移動展示会及び消費者の寝具使用状況調査 |
| | 11月 | ●青梅青年会議所創立(当所指導) |
| | 12月 | ●第7期議員改選 ●監事2名を3名に改正、12月2日臨時議員総会 |
| 1968年度 (昭和43年) | 4月 | ●第1回ビジネスショー 於 青梅市民会館 (4月19日～20日) 36社 出品500点 800名 |
| | 6月 | ●青梅織物転廃業実態調査 昭和37～42年までに転廃業に138社のうちから抽出調査 |
| | 8月 | ●事務所移転 青梅市青梅259-2(簡裁跡)(8月19日) |
| | 11月 | ●第1回青梅産業観光まつり(11月1日～3日) 出品業者83社 来場者約5万人 |
| 1969年度 (昭和44年) | | ●東青梅駅前商業マスタープランの作成 ●青梅駅前再開発調査(東京商工会議所企画調査部へ委託) ●共済制度(当所単独の火災共済)廃止 |
| | 2月 | ●企業アンケート 大別5業種に分類し、企業の問題点、今後の振興策について調査(226社、回収率76%、172社) 市民アンケート 市民の意識、要望などについて調査(600人、回収率75.8%、455人) 以上のアンケートは青梅青年会議所へ委託事業として実施 |
| 1970年度 (昭和45年) | 4月 | ☆奥多摩商業協同組合創立(当所指導) |
| | 12月 | ●第8期議員改選 |
| 1971年度 (昭和46年) | 12月 | ●青梅商店街、河辺駅周辺商店街の開発ビジョン診断報告書作成 |
| | 1月 | ●第45回議員総会 定款一部改正し副会頭4人制を3人制に改正、1名欠員の補充を行った。 |
| 1972年度 (昭和47年) | 5月 | ☆青友木材協同組合創立(当所指導) |
| | 6月 | ●青梅駅前改造B街区完成 |
| | 1月 | ●大型店影響調査——長崎屋が青梅駅前に移転出店したが、その近隣小売店に対する影響を調査 |



製織技術講習会



寝具の消費傾向調査報告書



創立15周年記念商工名鑑



事務所移転



市民意識調査報告書



開発ビジョン診断報告書



青梅駅前改造共栄ビル落成

●：当所事業 ☆：関係団体事業

1973～1982年度

(昭和48～57年)

| 年度 | 月 | 主な動き |
|-------------------|-----------------------------|--|
| 1973年度 (昭和48年) | 4月 10月 1月 | <ul style="list-style-type: none"> ●特定退職金共済制度実施 ●臨時議員総会 定款改正を次のとおり行う 副会頭 定員4名を3名に 議員 定数75名を80名に ●第9期議員改選 定款一部改正 部会増設 金属機械器具部会 |
| 1974年度 (昭和49年) | 6月 1月 | <ul style="list-style-type: none"> ●商業活動調整協議会設置 ●青梅商工会館建設具体化へ（常議員会に於て方針決定） ●西多摩工業会、青梅労働基準協会の事務委託を受ける ●三ツ原工業団地進出希望者の意見聴取懇談会開催 ●議員総会に於て商工会館建設決議 |
| 1975年度 (昭和50年) | 7月 8月 9月 11月 3月 | <ul style="list-style-type: none"> ●商工会館建設のため募金活動開始 ●商工会館建設工事入札 ●商工会館建設地鎮祭 ●商工会館建設工事 ●議員総会に於て情報センター設置承認 |
| 1976年度 (昭和51年) | 5月 6月 10月 | <ul style="list-style-type: none"> ●青梅商工会館完成 ●青梅商工会館落成式及び創立25周年記念式典 昭和51年6月16日 青梅市青梅374 青梅市民会館（式典） 青梅市青梅373 青梅商工会館（パーティー） ●青梅商工会議所情報センター建設起工式（6月25日） ●事務所移転、青梅市青梅259番地より青梅市青梅373番地へ（6月28日） ●第10期議員改選 ●青梅商工会議所情報センター開所式（12月17日） 電子計算機 TOSBAC-5100 モデル30システム メモリ64KB設置 |
| 1977年度 (昭和52年) | 6月 10月 11月 1月 | <ul style="list-style-type: none"> ●青梅商工会議所 奥多摩支所開設（6月1日） ●青梅労働基準協会設立（当所内に事務局設置） ●情報センター 記帳機械化共用システム開発に取り組む（税理士会後援） ●青梅市中小企業従業員等互助会発足（当所委託） |
| 1978年度 (昭和53年) | 5月 10月 | <ul style="list-style-type: none"> ☆三ツ原工場集団化事業開始 ●全国情報化週間第4回情報化シンポジウム（10月6日～7日） 於 当所 主 催 日本商工会議所 青梅商工会議所 出席者 32商工会議所 66名 テーマ 商工会議所の情報処理事業「その方向とすすめ方」 |
| 1979年度 (昭和54年) | 7月 12月 3月 | <ul style="list-style-type: none"> ●河辺駅周辺商業立地診断 ●第11期議員改選 ●議員総会 定款改正 通常議員総会の開催月を3月と6月とあるのを、3月と5月に改正 |
| 1980年度 (昭和55年) | 11月 | ●青梅珠算連盟設立（11月7日） 会員38名 |
| 1981年度 (昭和56年) | 4月 9月 1月 | <ul style="list-style-type: none"> ●情報センター新機種導入 ACOS-250（日本電気、東芝共同製作） ●青梅商工会議所工業振興研究会発足（9月4日） 会員63名（略称 青工振） ●会頭と新規会員懇談会（1月20日） 出席者35名 |
| 1982年度 (昭和57年) | 6月 7月 10月 3月 | <ul style="list-style-type: none"> ●創立30周年記念 カナダ・アメリカ大自然の旅（6月17日～25日） 参加者28名 ●東京都工業技術センター誘致問題について要望 ●創立30周年記念式典とアトラクション（10月6日） 於 青梅市民会館ホール 記念式典、永年勤続役員表彰、功労者表彰、ソロバン演技公開、歌謡漫談と歌、 出席者350名、創立30周年記念版商工名鑑配布 ●商業近代化懇談会（創立30周年記念事業）（3月18日） 出席者25名 |



青梅商工会館外観設計図



昭和51年6月商工会館落成式及び創立25周年記念式典



情報センター設置



第4回情報化シンポジウム



河辺駅周辺商業立地診断説明会



青梅商工会議所工業振興研究会設立総会

●：当所事業 ☆：関係団体事業

1983～1992年度

(昭和58～平成4年)

| 年度 | 月 | 主な動き |
|-------------------|---|---|
| 1983年度 (昭和58年) | 4月 | ●創立30周年記念チャリティーゴルフ大会(4月11日) |
| | 6月 | ●都立工業技術センター誘致署名運動展開(青工振)(4月1日～20日) 署名850社 趣旨賛同18団体 |
| | 11月 | ●共済制度「福祉プラン」発足(生命共済制度から転換)(6月1日) ●都立工業技術センター誘致促進スローガン塔設置(11月26日) |
| 1984年度 (昭和59年) | 4月 | ●異業種交流研究会発会式(4月9日) |
| | 9月 | ●青梅地域小売商業近代化対策調査報告会(4月20日) |
| | 12月 | ●工業技術よろず相談所開設(9月21日) 毎週金曜日 ☆青梅市日本中国友好協会創立総会(12月4日) 当所で事務受託 ●意見活動 青梅市総合長期計画に伴い、商業・工業・観光振興対策に関する要望 |
| 1985年度 (昭和60年) | 7月 | ●青梅市工業の将来展望、提言発表会(7月29日) 出席者65名 |
| | 9月 | ●おうめ商工ニュース100号発行(9月15日) |
| | 11月 | ●おうめ商工ニュース100号記念「会議所と共に」出版(11月25日) |
| | 12月 | ●第90回臨時議員総会(12月5日) 第13期役員・議員就任 ●人材育成事業(本年度より実施) 各種人材育成のための講習会・研究会を6回開催 受講者276名 |
| 1986年度 (昭和61年) | 5月 | ●多摩地域工業技術相談所を当所内に開設 |
| | 11月 | ●情報センター開設10周年記念祝賀会(11月26日) ●意見活動 首都圏中央連絡道路建設促進に関する陳情書 |
| 1987年度 (昭和62年) | 7月 | ●商業近代化基本計画「青梅市商業の将来展望」報告会(7月3日) 出席者51名 |
| | 10月 | ●通商産業大臣より表彰 於 ホテルニューオータニ 10月1日 昭和62年度情報化促進貢献団体として受賞 |
| | 11月 | ●創立35周年記念式典 11月26日 文化講演会、講師 NHKディレクター深町幸男氏、演題 ブラウン管裏側から～男と女の哀しみ～ 青梅市民会館会議室 120名 |
| 1988年度 (昭和63年) | 8月 | ●奥多摩町まちおこし事業 8月11日～3月29日 奥多摩町まちおこし10カ条とふる里活性化を提言とする報告書を作成 |
| | 12月 | ●第14期役員・議員改選 12月8日 |
| | 2月 | ●中小企業金融公庫定例相談日開設 ☆協同組合 東栄会設立・当所指導(2月16日) |
| 1989年度 (平成元年) | 6月 | ●消費税導入実態調査 6月26日～7月10日 |
| | 10月 | ●榎戸米吉氏の顕彰を考える会発足 10月11日 |
| | 10月 | ●榎戸米吉氏顕彰像建設発起人会 10月23日 |
| | 12月 | ●消費者動向調査 |
| | 1月 | ●第1回新年賀詞交歓会 1月4日 128名 |
| 3月 | ●まちおこし事業、炭火コンロセットの配布とアンケート調査 | |
| 1990年度 (平成2年) | 4月 | ●会員サービス事業 4月より 首都高速道路(東京線)と中央高速道路(高井戸～八王子)の割引回数券の販売を開始。 |
| | 6月 | ●榎戸米吉氏顕彰像除幕式・祝賀会 6月19日 |
| | 12月 | ●情報センター分室開設 12月1日 |
| | 2月 | ●灯ろう流し実行委員会設立準備会 2月26日 |
| | ●意見活動 1.青梅市長に、観光事業の将来ビジネス策定についての要望。 2.青梅市長に「青梅地域総合経済振興懇談会」で調査・研究・検討の「21世紀に向けた西東京中核都市・青梅の経済振興基本策の提言」についての要望 ●調査研究 「21世紀に向けた西東京中核都市・青梅の経済振興基本策の提言」 | |
| 1991年度 (平成3年) | 4月 | ●郵便検診サービス開始 会員サービス事業として①大腸ガン②肺ガン③子宮けいガンの検査を郵便検診で開始した |
| | 12月 | ●第15期役員・議員改選 12月8日 |
| 1992年度 (平成4年) | 6月 | ●インフォメーションCCI創刊号発行 6月7日 |
| | 7月 | ●青梅商工会議所 商業まちづくり委員会設置 7月3日 |
| | 10月 | ●商工共済「ぶらむ」発足 |
| | 11月 | ●山崎正雄氏(前会頭)勲三等瑞宝章授章 ●創立40周年記念式典 11月27日 於 青梅市民会館 式典、永年勤続表彰(役職員・会員企業)、功労者表彰、特別記念講演会(浅井信雄氏)、レセプション、記念誌発行 |



都立工業技術センター
誘致運動展開



情報センター開設10周年
記念祝賀会



まちおこし事業炭火コンロセッ
トの配布とアンケート調査



消費税導入の説明会



榎戸米吉氏顕彰像除幕



創立40周年記念式典

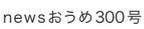


祝賀レセプション

●：当所事業 ☆：関係団体事業

1993～2002年度

(平成5～平成14年)

| 年度 | 月 | 主な動き |
|-------------------|-----------------------------------|--|
| 1993年度 (平成5年) | 5月 9月 12月 1月 2月 3月 | <ul style="list-style-type: none"> ●本年度より会員事業所永年勤続従業員表彰を開始 ●円高影響緊急調査 9月1日～10日 ●第37回ミス青梅コンテスト (本年度より当所主催で実施) 9月5日 ●青梅市新庁舎建設の工事発注に関する陳情 12月13日 ●圏央道を促進する青梅市民の会設立総会 1月28日 会員数30,201人 ●おうめ商工ニュース200号発行 ●共済制度発足25周年記念会員大会 3月22日 於 霞共益会館 特別記念講演会 (加藤寛氏)、優良企業表彰、お楽しみ抽選会 |
| | |  第37回ミス青梅コンテスト  圏央道青梅IC完成予想図 |
| 1994年度 (平成6年) | 5月 12月 | <ul style="list-style-type: none"> ●第115回通常議員総会 5月27日 定款変更 (議員定数の増員) の件 議員85→100名 ●第117回臨時議員総会 (役員・議員改選) 12月7日 |
| 1995年度 (平成7年) | 4月 7月 8月 2月 | <ul style="list-style-type: none"> ●中小企業PL保険制度スタート ●西多摩地域大型店対策協議会 (商工会議所・商工会) 開催 7月27日 ●会員Opinion (意見) アンケート 8月15日～31日 ●会員増強運動により会員2,100社達成 ●観光マップ (青梅・奥多摩ぶらり旅) 発刊 観光サービス部会 |
| | |  青梅・奥多摩「ぶらり旅」 |
| 1996年度 (平成8年) | 6月 9月 11月 2月 3月 | <ul style="list-style-type: none"> ●キーボード操作技能認定試験を開始 ●ビジネスコンピューティング検定試験を開始 ●ファクシミリ情報ネットワーク情報 タイトル版発信開始 ●情報センター設立20周年式典 11月18日 青梅市福祉センター 記念講演 (関本忠弘氏)、感謝状贈呈、記念誌 ●青梅市斎場建設に伴う運営参画に関する要望 ●第122回通常議員総会 3月26日 定款変更 (役員・議員の任期) の件 全国統一のため |
| | |  情報センター設立20周年式典 |
| 1997年度 (平成9年) | 5月 8月 9月 2月 | <ul style="list-style-type: none"> ●青梅商工会議所ホームページ発信 5月22日 ●奥多摩町小口事業資金融資制度の改善を求める要望 ●会館改修工事を実施 (事務所を1階に移転) ●青梅商工会議所創立45周年記念事業 会員名簿発行 ●「大規模小売店舗立地法案」問題に関する陳情 |
| | |  創立45周年記念「会員名簿」  地域振興券の特定事業者配布物 |
| 1998年度 (平成10年) | 11月 2月 3月 | <ul style="list-style-type: none"> ●第127回臨時議員総会 (役員・議員改選) 11月6日 ●地域振興券の特定事業者受付業務 2月1日～15日 917件 (交付開始3月) ●工業集積地域活性化支援事業 3月31日 工業関連企業情報「テクノガイドおうめ」開設・発信 211社 |
| 1999年度 (平成11年) | 4月 12月 3月 | <ul style="list-style-type: none"> ●空き店舗対策事業「商店街等活性化先進事業対策委員会」設置 ●空き店舗対策事業に係る財政援助の要望 ●青梅観光案内所の設置に関する要望 ●観光サービス部会 第1弾エリアマップ「御岳渓谷～吉野梅郷」発刊 ●工業集積地域活性化支援事業 企業名鑑「テクノガイドおうめ」発刊、日商企業紹介ホームページに登録 ●空き店舗対策事業 委員会・作業部会・小委員会にて協議し、5店舗をオープン 8月21日 ガチャ萬商会、9月25日 マイショップ青梅、道楽屋店舗テイスト、スカラベ、 10月23日 昭和レトロ商品博物館 ●容器包装リサイクル法施行に伴う事務手続きの委託業務開始 |
| | |  空き店舗対策事業「昭和レトロ商品博物館」 |
| 2000年度 (平成12年) | 9月 2月 3月 | <ul style="list-style-type: none"> ●オンラインマーク制度「地域センター」として受付開始 ●常設パソコン教室を設置 ●青梅・奥多摩事業者連絡会議 2月14日 商業部会 ●情報通信技術活用研修事業 インターネットの操作、メールの受発信、ホームページの作成等の研修を実施 ●ITる・る・るワールド(地域情報化支援事業) パソコンの斡旋、各種講習会の開催 |
| 2001年度 (平成13年) | 10月 11月 3月 | <ul style="list-style-type: none"> ●会員サービス事業「ハイウェイカード」インターネット受付開始 ●部会再編 (商業・工業・機械電子・観光・サービス・建設業) スタート ●第135回臨時議員総会 (役員・議員改選) 11月8日 ●青梅市情報通信技術 (IT) 講習会受託 会員パソコンスクールの協力にて実施 (180講座) ●ITる・る・るワールド(地域情報化支援事業) 各種講習会の開催 (受講154名)、OA相談、Eメール情報発信 |
| 2002年度 (平成14年) | 6月 10月 11月 | <ul style="list-style-type: none"> ●広報誌300号記念「newsおうめ」にリニューアルして発行 ●会員サービス事業「定期健康診断」開始 ●創立50周年記念式典 11月27日 於 青梅市民会館 式典、50周年宣言、表彰 (事業運営会員企業・功労者)、記念講演 (紺谷典子氏) |
| | |  newsおうめ300号  |

●：当所事業 ☆：関係団体事業

2003～2012年度

(平成15～平成24年)

| 年度 | 月 | 主な動き | |
|-------------------|-------------------------------------|---|---|
| 2003年度 (平成15年) | 10月 11月 3月 | <ul style="list-style-type: none"> ●竹内市長へ河辺駅北口開発計画を要望 ●正副会頭と御岳山地区会員の地域懇談会を開催 ●サービス部会 六本木ヒルズ視察 ●観光部会 エリアマップ奥多摩湖周辺発刊 | |
| 2004年度 (平成16年) | 4月 7月 11月 2月 3月 | <ul style="list-style-type: none"> ●会員サービス向上のため会議室の休日貸出スタート ●これから事業を始められる方、既に始めて間もない方のための「創業塾」開講 ●第143回臨時議員総会（役員・議員改選） 11月9日 ●プライバシーマーク取得（個人情報保護） ●正副会頭と奥多摩地区会員の地域懇談会を開催 ●工業・機械電子部会 上海へ初の海外視察研修会を実施 |  <p>プライバシーマーク取得</p> |
| 2005年度 (平成17年) | 7月 8月 | <ul style="list-style-type: none"> ●産業クラスター計画を実施するため連携促進委員会を設置 ●市長と懇談会「市政と産業」で意見交換会 |  <p>情報センター設立30周年記念式典</p> |
| 2006年度 (平成18年) | 4月 11月 3月 | <ul style="list-style-type: none"> ●個店の活性化と既存の地域資源を活用し、回遊性を高め、活気と魅力ある青梅にするためにシナジースキーム事業計画作成着手 ●産業支援のための青梅線沿線地域産業クラスター協議会が結成 ●情報センター設立30周年を迎え記念式典を開催 ●産業クラスター協議会が「ものづくりフォーラム in 青梅」を開催し、約250名が来場 |  <p>情報センター設立30周年式典</p> |
| 2007年度 (平成19年) | 5月 10月 11月 2月 | <ul style="list-style-type: none"> ●市長へ青梅市新庁舎建設要望書を提出 ●工業部会 分科会を設立 ●懐かしい映画ポスターが青梅駅周辺に設置（シナジースキーム事業） ●第151回臨時議員総会（役員・議員改選） 11月15日 ●映画看板風に看板を制作（観光まちづくり事業） ロゴを制作し、各看板に使用 |  <p>小澤前副会頭受章祝賀会</p> |
| 2008年度 (平成20年) | 6月 7月 2月 | <ul style="list-style-type: none"> ●観光部会「青梅・奥多摩エリアマップ」がHPよりダウンロード可能に ●「介護福祉のお悩み相談室」開設（青梅線沿線地域産業クラスター協議会 福祉活性化事業） ●小澤前副会頭が藍綬褒章受章し祝賀会を開催 ●会員相互の交流・地域活性化等を目的として相互サービス事業を開始 |  <p>清水第5代会頭受章祝賀会</p> |
| 2009年度 (平成21年) | 4月 9月 10月 3月 | <ul style="list-style-type: none"> ●情報センターより事業部に改組 ●当所の要望が実現しプレミアム付き商品券を発売 ●清水第5代会頭が旭日小綬章受章し祝賀会を開催 ●初めて当所主催の合同企業説明会を開催 ●営業・販売強化するための経営革新塾開講 ●奥多摩グルメマップ完成（観光まちづくり事業） ●青梅看板マップ完成（観光まちづくり事業） |  <p>館会頭を新たに迎えスタート</p> |
| 2010年度 (平成22年) | 6月 10月 11月 12月 1月 3月 | <ul style="list-style-type: none"> ●工業部会自動車整備分科会では食品関連分科会と協力し地場食品を献血者に配布 ●清水第5代会頭が任期満了を目前に逝去 ●会員交流会第1弾「ボウリング大会」を開催 ●建設業部会 東京スカイツリー視察研修会を実施 ●臨時議員総会が開催され館会頭を新たに迎えスタート ●青梅市より委託を受け商工業の実態を調査 ●会員交流会第2弾「新春会員交流会」を開催 ●会員交流会第3弾「店長交流会」を開催しホットマン(株)を見学 ●2011年3月11日 東日本大震災（会員事業所から義援金を募り、日本商工会議所を通じて東北復興を支援） |  <p>「大多摩B級グルメ」優勝</p> |
| 2011年度 (平成23年) | 4月 5月 9月 11月 3月 | <ul style="list-style-type: none"> ●御岳山「おいぬさま」活性化事業スタート ☆西多摩初となる100縁商店街の開催を支援（奥多摩町） ●簿記学院が大原簿記法律専門学校の講師を迎えリニューアル ☆多摩地区にある商工会議所・商工会が一同に会し、多摩経済サミットを実施 ●受講日程を自分で自由に設定できるパソコン教室を開講 |  <p>「大多摩B級グルメ」優勝</p> |
| 2012年度 (平成24年) | 5月 7月 11月 | <ul style="list-style-type: none"> ☆「大多摩B級グルメ」大会にて青梅発のトウキョウXを使用した肉うどんが見事優勝 ●店主等が講師となり専門知識などを無料で伝える「街なかゼミナール」を開催 ●東青梅事務所と青梅事務所を統合 ●第45回青梅産業観光まつりで「東北復興応援コーナー」と題し、気仙沼市の物産を含めた物産展を開催 ●創立60周年記念式典 11月28日 於 青梅市民会館 式典、記念講演（川口淳一郎氏） |  <p>「大多摩B級グルメ」優勝</p> |

●：当所事業 ☆：関係団体事業

商工会議所 70年の歩み

61～70周年



2013年6月～12月

若年経営者および後継者を対象に
青梅ものづくり後継者塾を開講



2013年11月

議員改選にあたり臨時議員総会を開催



2013

2014

2013年4月

青梅市・商業者・交通業者・市民団体等と連携し、「青梅市中心市街地活性化協議会」を設立



商工業発展のため、「梅の里再生中小企業振興資金」を開始（青梅市）



2013年7月

多様化・複雑化する経営課題を解決するための「経営革新等支援機関」に認定

2013年8月～2014年1月

東京都提案型事業にて買い物の不便な地域や高齢者施設へ出張販売をする「出張商店街」を実施



2014年3月

記録的な大雪により、店舗等の破損・倒壊、営業への影響等が生じていた企業に対し御岳山地区と奥多摩地区にて特別相談会を実施

2014年4月

小売・流通業界で唯一の公的資格「販売士検定試験」
受験開始

火災情報アプリ FIRE CORPS め組をリリース



2014年6月

井上信治衆議院議員の事務所を訪問し、「東京地方裁判所立川支部及び東京家庭裁判所立川支部の本庁化を求める要望書」を提出

当所が要望していた産業競争力強化法における創業支援事業計画を国に申請し認定（青梅市）

2014年6月～7月

～私にもできる起業スタイル発見塾～
「女性のための創業セミナー」開催



2015年4月★

青梅市中心市街地エリアの商店街や商店主などが中心となり「まちづくり青梅」を設立



第1回目となる「新入会員交流会」を開催（平成26年度以降入会の会員を対象）



2015

2014年9月

飲食店の新規顧客獲得を目的として、青梅市内の上町から勝沼地区にてまちバル（昭和レトロ・青梅まちバル）を開催



2015年3月

事業継続支援アプリBCPめ組をリリース



2015年6月

地元消費の拡大、地域経済の活性化に資することを目的としてプレミアム付商品券を発行

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、外国人観光客対応強化として無料wifiを設置（青梅市・奥多摩町）

2014年10月

建設業部会にて大島への視察研修会を実施。部会として義援金を大島商工会に贈呈



2015年7月

東京都庁において東京都知事と都内商工会議所会頭と懇談会を開催

2015年9月

青梅市・奥多摩町でスイーツを提供しているお店の「逸品スイーツ」を紹介



2015年11月

まち・ひと・しごと創生総合戦略を見据えた青梅商工会議所中期ビジョン（2016～2019年度）を策定

2016年2月

青梅市の名産物を取り扱った地域応援ショッピングモールサイト「東京いいもの青梅」の運営を開始



2016年3月

小規模事業者の持続的な発展を図ることを目的とした「経営発達支援計画」が認定

2016年8月

農林水産省がおこなう採択を受け、食の地域ブランド再構築「青梅・奥多摩」食の魅力発信プロジェクトをスタート



2017年

第125回日本商工会議所組織強化表彰「会員増強会員数増加部門」を受賞



2017年度より3年間かけ外国人観光客受け入れの取り組みを開始（インバウンドセミナー、HP多言語化、PR動画作成）



2016

2016年4月

「おらめ創業支援センター（通称：Begin!）」がグランドオープン



2016年10月

自治体窓口業務の受託開始

2016年10月～11月

イトーヨーカドー拝島店のご協力のもと観光部会にて青梅・奥多摩に関する観光情報をPR



2016年11月

小澤会頭を筆頭とし、第23期役員・議員体制がスタート
スローガン「経済の発展なくして、社会の繁栄なし」

2017

2017年9月

日本商工会議所がIoT活用専門委員である武州工業㈱を視察



2017年

地域の特産品を集め、贈答品カタログとして販売する「青梅・奥多摩の特産品ギフトカタログ」を販売

2017年11月

飯能商工会議所との地域間工業交流会を開催



2018年2月

機械電子部会にて青梅から海外進出を果たし、タイに拠点を構えている平岡産業(株)の海外工場を見学



2018年9月★

秋の紅葉シーズンに観光客を誘致しようと、青梅市・奥多摩町の観光関連9団体が「青梅・奥多摩もみじ協定」を締結



新宿にあるJAアグリパークにて開催された多摩フェアに催事出店



2019年7月

IoT推進委員会事業「生産性革新リーダー養成講座」を開講



2018

2019

2018年11月

「私達の『街』」のフォトジェニックを開催し、SNS映え写真でお店をPR!



東京都知事と都内商工会議所会頭との懇談会を開催。席上、自然を有効活用する観光産業に注力していることを報告



2019年9月

日本で初めての開催となったラグビーワールドカップ2019。「パブリックビューイング」を開催し、青梅市一丸となって応援



2019年10月

2019年10月の消費税増税に伴い、低所得者・子育て世帯の消費に与える影響を緩和するため、プレミアム付き商品券を販売

2019年11月

地元の方角けに普段見ることのできない、ものづくり企業の工場内を見学するオープンファクトリーを開始



2020年

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、経営相談窓口、web相談体制整備事業、宅配お持ち帰りサービス、青梅市IT化導入支援、青梅市プレミアム付商品券・宿泊券、テイクアウトサポート、感染症対策商品(会員サービス)、一時支援金の申請支援、青梅市事業者臨時給付金、奥多摩地域応援券を実施

2020年4月

令和2年度春の叙勲において 館 盛和名誉会頭が「旭日小綬章」を受章



中小企業・小規模事業者への効果的な支援に努め、商業振興に資することを目的に飯能信用金庫と協定書を締結

2020年11月

健康経営優良企業「銀の認定」

2020

2021

2019年11月

臨時議員総会にて第24期新体制がスタート

労働者派遣事業許可を取得

2019年12月

スマートSMEサポーター認定



2020年3月

オンライン経営指導と地域のIoT導入支援を中心に評価され、日本商工会議所主催の事業活動表彰を受賞

2020年7月

JR青梅駅～奥多摩駅間沿線地域の産業・観光等の発展と地域社会の繁栄を目的とした「東京アドベンチャーライン沿線地域活性化協議会」が発足

2020年11月

お店の魅力をひとことで言い表し、PRに大いに役立つ「青梅・奥多摩キャッチコピー事業」を実施



2020年度～2023年度青梅商工会議所中期計画を策定ビジョン

地域産業を活性化させ、安定した雇用を創出し、住む人・働く人を輝かせ、地域経済の好循環を目指します

2021年

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策として月次支援金・事業復活支援金の申請支援、青梅市デジタル化促進事業、青梅市キャッシュレス決済ポイント還元事業、青梅市プレミアム付商品券、奥多摩町地域応援券を実施

2021年3月

健康経営優良法人2021(中小規模法人部門)認定



2021年10月

2016年4月から東青梅センタービル1Fで営業していたおうめ創業支援センターが、10月1日に河辺に移転、リニューアルオープン



2022年11月

第25期より頭会頭を3名から4名に、工業・機械電子部会を統合し工業部会、建設業部会を建設・不動産部会へ再編

2022年4月

令和4年度春の叙勲において野崎 弘相談役が「旭日双光章」を受章



2022

2021年8月

シェアオフィス・テレワーク個室を設置し、貸出を開始

2021年9月

当所の会員事業所と従業員、その家族の方々を対象とし新型コロナウイルス感染症ワクチン職域接種を実施



2021年11月

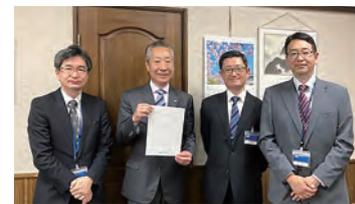
青梅市内全域を青梅産業観光まつり会場に見立て、市民の皆さまに回遊していただくことを目的に、新しいスタイルで開催



創立記念日である11月26日に商工会館の土地を購入(青梅市上町373番地の1)

2022年4月

西武信用金庫より「令和4年度地域みらいプロジェクト資金」が贈呈



2022年5月

青梅信用金庫より「おうめ創業支援センター運営およびチャレンジショップ運営のための支援金」が贈呈



「61～70年を振り返って」

私が会頭に就任したのは、未だリーマンショックの傷冷めやらぬ2010年11月でした。翌年3月の通常総会は東日本大震災の直後であり、計画停電のさなかでした。街中暗く福島原発がどうなるか地域経済がどうなるか予断を許さない中での就任でした。情報センターにおいても、当時オフコン処理からパソコンネットワークへと変化があり難題に直面しておりました。それらの課題を解決することは容易な事ではありませんでしたが、皆と協力し解決できました事は、幸せな事でした。又多くの経営者、事業者と会い多くの啓発を受けたことも会頭をしたからこそと感謝しております。さて今日の長く続く、コロナ禍の中での経営を思うとき、歴代会頭が苦勞し会議所会員、職員と協力して地域の課題、企業の課題を解決していくという会議所の使命はいつの時代にも不変であり必要なものであると思います。会議所会員企業又会議所の発展を心から祈念致します。

青梅商工会議所 第六代会頭 館 盛和
(任期：2010.11.12～2016.10.31)

「61～70年を振り返って」

新型コロナは社会に大きな影響を与え、青梅商工会議所も対応に追われた。そんな中、青梅ではまちづくり青梅が活動を開始、奥多摩は居住者誘致を加速、新しい風も吹き始めた。観光面ではJRアドベンチャーライン構想が沿線のイメージを大きく変え、青梅東部地区は工業、商業、流通それぞれの分野で発展が期待される。青梅、奥多摩は未来に向け進んでいる。最後に、商工会議所会員数が順調に増加していることもご報告したい。

青梅商工会議所 第七代会頭 小澤 順一郎
(任期：2016.11.1～2022.10.31)

「編集にあたって」

青梅商工会議所は、1952年（昭和27年）1月に創立総会を開催し、同年11月に設立認可されました。そして、本年（令和4年）70周年を迎えました。記念する年を迎え、本年度はさまざまな記念行事を開催しておりますが、11月25日に創立70周年記念式典を開催し、本「創立70周年記念誌」を発行致しました。本文中に誤謬がないよう注意を払いましたが、もし誤植等がありましたら深くお詫び申し上げます。編集、印刷、製本まで誠心誠意作成を担当いただきました株式会社精興社に厚く御礼申し上げます。

この記念誌が皆さまの手元に置かれ、過去を振り返ることで、現在を見つめなおし、将来の皆さまの企業の繁栄の一助になれば幸いです。青梅商工会議所70年の歴史にご助力いただいた会員企業・役員・議員・関係者の皆さまに記念誌発行にあたって感謝の意を表し、編集後記と致します。

青梅商工会議所 職員一同

青梅商工会議所
創立70周年記念誌

2022年11月発行

発行所 青梅商工会議所
〒198-8585 青梅市上町373-1
TEL 0428-23-0111
URL <https://www.omecci.jp/>

印刷・製本 株式会社 精興社
青梅市根ヶ布1-385
TEL 0428-22-3136

70th
Anniversary
— 創立70周年記念誌 —

